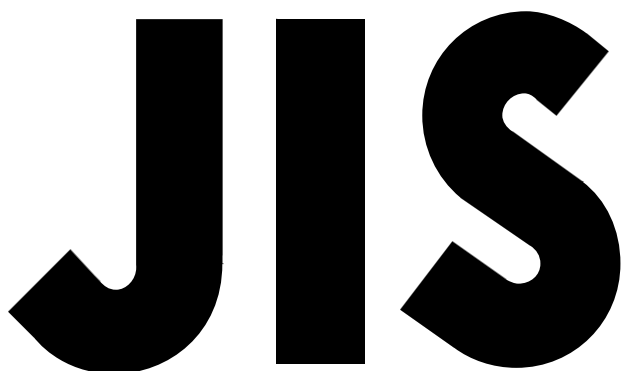




生地の吸湿発熱性試験方法一 第 1 部：最大吸湿発熱温度測定法

JIS L 1952-1：2021

令和 3 年 3 月 22 日 制定

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 消費生活技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	大 瀧 雅 寛	お茶の水女子大学
(委員)	浅 見 剛 尚	一般財団法人日本文化用品安全試験所
	阿 部 哲 也	一般財団法人製品安全協会
	天 野 美智子	株式会社オカムラ
	太 田 秀 幸	一般社団法人繊維評価技術協議会
	鹿 野 歩 子	独立行政法人製品評価技術基盤機構
	黒 木 美 紀	一般財団法人日本消費者協会
	佐々木 定 雄	一般社団法人日本ガス石油機器工業会
	寺 山 博 子	イオントップバリュ株式会社
	平 井 郁 子	大妻女子大学
	平 野 祐 子	主婦連合会
	星 川 安 之	公益財団法人共用品推進機構
	町 田 隆	一般財団法人家電製品協会
	武 藤 京 子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	村 井 正 素	公益社団法人消費者関連専門家会議

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：令和 3.3.22

官 報 掲 載 日：令和 3.3.22

原案作成協力者：日本化学繊維協会

(〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 3-1-11 繊維会館 TEL 03-3241-2311)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

審議専門委員会：消費生活技術専門委員会 (委員長 大瀧 雅寛)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成協力者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1 E-mail:jisc@meti.go.jp 又は FAX 03-3580-8625) にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 原理	2
5 試験条件	2
6 試験装置	2
7 材料	5
8 試験片の準備	5
9 試験	5
10 試験報告書	7
附属書 A（規定）高温空気の供給流量の決定方法	8
附属書 B（参考）吸湿発熱性の効果指標	10
参考文献	11
附属書 JA（参考）JIS と対応国際規格との対比表	12
解 説	15

まえがき

この規格は、産業標準化法に基づき、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が制定した日本産業規格である。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格に従うことは、次の者の有する特許権等の使用に該当するおそれがあるので、留意する。

- － 氏名：一般財団法人カケンテストセンター
- － 住所：東京都中央区日本橋室町4丁目1番22号
- － 工業所有権の種類：特許第5503675号
- － 登録日：2014年3月20日
- － 名称：収着発熱性測定装置および測定方法

上記の、特許権等の権利者は、非差別的かつ合理的な条件でいかなる者に対しても当該特許権等の実施の許諾等をする意思のあることを表明している。ただし、この規格に関連する他の特許権等の権利者に対しては、同様の条件でその実施が許諾されることを条件としている。

この規格に従うことが、必ずしも、特許権の無償公開を意味するものではないことに注意する必要がある。

この規格の一部が、上記に示す以外の特許権等に抵触する可能性がある。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権等に関わる確認について、責任はもたない。

なお、ここで“特許権等”とは、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権をいう。

JIS L 1952 の規格群には、次に示す部編成がある。

JIS L 1952-1 第1部：最大吸湿発熱温度測定法

JIS L 1952-2 第2部：熱保持指数測定法

生地 of 吸湿発熱性試験方法一

第 1 部：最大吸湿発熱温度測定法

Textiles—Determination of dynamic hygroscopic heat generation—
Part 1: Test method for maximum generated hygroscopic heat temperature
measurement by humidification

序文

この規格は、2015 年に第 1 版として発行された **ISO 18782** を基とし、規格の構成及び技術的内容を変更して作成した日本産業規格である。

なお、この規格で点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、**附属書 JA** に示す。

1 適用範囲

この規格は、生地 of 片面（肌面）に供給する空気を低湿から高湿に変化させたときに生じる最大吸湿発熱温度を測定する試験方法について規定する。織物、編物、不織布などの平板状繊維素材について適用する。

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 18782:2015, Textiles—Determination of dynamic hygroscopic heat generation (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、**ISO/IEC Guide 21-1** に基づき、“修正している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS L 0105 繊維製品の物理試験方法通則

JIS L 0208 繊維用語—試験部門

JIS L 0803 染色堅ろう度試験用添付白布

注記 対応国際規格：**ISO 105-F02**, Textiles—Tests for colour fastness—Part F02: Specification for cotton and viscose adjacent fabrics

JIS R 3503 化学分析用ガラス器具

JIS Z 8401 数値の丸め方